

艇跡

2025 年 12 月号

発行 : 名古屋工業大学ボート部

編集 : 市川果凛 馬場明梨 飯田大介 鈴木満帆

出原咲 中山満喜 行武美咲 天野海

石田美紗貴 片桐なるみ 谷勇獅 玉井花奈

難波隼平

寒さが日増しに感じられる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日行われた名大新人戦をもちまして今シーズンの大会はすべて終了いたしました。これから冬期シーズンのトレーニングが始まります。次シーズンでの目標達成を目指し、部員全員で努力してまいります。引き続き、ご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。



目次

中部学生新人選手権大会.....	2
名古屋レガッタ.....	6
全日本新人ローイング選手権大会	11
名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会・	14
今後の予定	17

中部学生新人競漕大会

まだ夏の厳しい暑さが残る中、中部学生新人競漕大会が行われました。男子舵手付きフォア、女子ダブルスカルA、女子ダブルスカルBは決勝に進出し、男子舵手付きフォア、女子ダブルスカルAは1位を取ることができました。今大会は特に新人にとってこれまでの成果を出す重要な大会になりました。

日程：2025年9月27日(土)～9月28日(日)

場所：愛知県愛知郡東郷町 愛知池漕艇場

出艇クルー：男子舵手付きフォア

C:岡本友那①

S:市岡俊祐①

3:田村拓也①

2:磯谷 瑠①

B:山口裕次①

男子ダブルスカル

S:塚中悠介①

B:青木大空①

男子シングルスカル

中神瑛太①

女子ダブルスカルA

S:鈴木葉奈②

B:外山日南乃②

女子ダブルスカルB

S:孕石琴音①

B:伊澤唯以愛①

○内の数字は学年を示しています。

◆男子舵手付きフォア/付きクォドルプル

〈タイムトライアル〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学	2:00.09	3:52.85

〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学(4+)	1:54.01	3:41.66
2	愛知東郷ボートクラブ(4x+)	2:16.32	4:29.02

◆男子ダブルスカル◆

〈予選A組〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	南山大学A	2:19.39	4:41.25
2	名古屋工業大学	2:47.14	5:18.27
3	岐阜大学B	2:44.55	5:22.40

〈敗復B組〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	岐阜大学A	2:04.35	4:07.50
2	岐阜大学C	2:12.60	4:19.71
3	名古屋工業大学	2:21.30	4:34.41



男子舵手付きフォアの漕ぎ出しです。



男子ダブルスカルの漕ぎ出しです。



4年の田中さんです。

◆男子シングルスカル◆

〈予選 A 組〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	南山大学 A(鍵山)	2:05.78	4:21.26
2	岐阜大学 B(榊原)	2:13.67	4:35.62
3	名古屋工業大学(中神)	4:11.99	7:55.77

〈敗復〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	岐阜大学 B(榊原)	2:06.24	4:19.02
2	金沢大学(大山)	2:23.27	4:41.34
3	南山大学 B(小林)	2:47.75	5:14.66
4	名古屋工業大学(中神)	3:33.57	6:34.92



1 年の中神のレースの様子です。



左から 1 年の伊澤と孕石です。

◆女子ダブルスカル◆

〈予選 B 組〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学 B	2:22.19	4:39.59
2	南山大学 A	2:25.33	4:44.48
3	南山大学 C	2:30.51	5:10.75

〈予選 C 組〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学 A	2:09.12	4:23.21
2	金沢大学 B	2:20.31	4:35.05
棄権	名古屋大学 A	-	-

〈決勝〉

着順	クルー名	500m	1000m
1	名古屋工業大学 A	2:00.76	4:08.06
2	金沢大学 A	2:03.47	4:08.26
3	南山大学 A	2:09.05	4:17.95
4	名古屋工業大学 B	2:12.21	4:24.26
5	金沢大学 B	2:09.86	4:24.66



女子ダブルスカル A のレースの様子です。



左から 3 年の岡田、4 年の藤原さん、3 年の鷲尾です。



男子舵手付きフォアのレースの様子です。

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア 2:磯谷瑠(1年)

庄内川レガッタ後にフォアに乗り始めたため、スタートやパドルなどの練習時間が十分に確保できない中で今大会でしたが、2日目にはチームで設定した目標タイムを上回ることができ、嬉しく思います。また、新人期を終えて初めての大会でもありましたが、過度に緊張することなく、無事に漕ぎ切ることができました。

男子舵手付きフォア B:山口裕次(1年)

今回の中部新人では、1000mレースに2回出場しました。フォア結成からの練習時間は限られていたため、上手く漕げるか不安がありました。そのため、大会当日は非常に緊張しましたが、想定以上に良い感触で漕げたと感じています。しかし、練習の際に先輩やクルーで共有した課題をすべて消化できたとは言えず、改善すべき点はまだ多く残されていると痛感しました。今後、次の大会に向けて同じフォアのクルーと共に精進していきます。

男子ダブルスカル B:青木大空(1年)

今大会は、現役として初めて臨む大会でした。新人期を終え、現役としての練習を開始して間もなかったため、練習量が不足しており、満足のいく結果は残せませんでした。しかし、他大学と競ってレースをすることの楽しさを肌で感じることができました。次の名古屋レガッタでは、今回の反省を生かし、勝利を目指します。

男子シングルスカル :中神瑛太(1年)

今回はシングルスカルでの初めての大会であり、周囲のレベルの高さや自身の技術不足など、多くのことを学びました。また、緊張により漕いでいる最中の視野が狭くなってしまうことにも気づきました。今後は漕ぎの技術をより高め、エルゴのタイムを向上させるため、筋力トレーニングや食事管理に一層励んでいきます。





3年の鷺尾です。



女子ダブルスカル B の蹴り出しです。



女子ダブルスカル B のレースの様子です。

女子ダブルスカル A S:鈴木葉奈(2年)

今回の大会では、初めて後輩と同じ種目で出漕したため、負けられないという気持ちが強く、非常に緊張しました。予選ではスタートから飛び出すことができ、ゴールまで他艇を確認しながら落ち着いて漕ぎ切ることができ、安堵しました。一方で、決勝は競る展開となり、焦りからミスを重ねてしまいました。今後は、そのような状況下でも冷静に漕げるよう成長していきたいと考えています。

女子ダブルスカル B S:孕石琴音(1年)

今回の中部新人選手権は、新人期を終えてから初めてのレースでした。予選を1位で通過でき、自分達の成長を実感できて大変嬉しく思います。また、決勝で先輩方のダブルと共にレースができたことは非常に心強く、貴重な経験となりました。一方で、まだまだ課題も多く、技術面でも体力面でも改善すべき点が明確になったレースでもありました。次の名古屋レガッタまでに少しでも改善できるよう、日々の練習を大切にしていきたいです。



集合写真です。

第 43 回 名古屋レガッタ

曇り空の下、名古屋レガッタが開催されました。男子舵手付きフォアや女子ダブルスカルは、1年生と上級生での対抗レースとなりました。今大会の反省を生かし、これからも努力を重ねていきます。

日程： 2025 年 10 月 12 日(日)

場所： 愛知県名古屋市港区 名古屋港漕艇センター

出漕クルー： 男子舵手付きフォア A	C: 亀島快斗② 2: 太田泰睦②	S: 宮倉悠吾② B: 荒井史豊②	3: 赤松大輔②
男子舵手付きフォア B	C: 岡本友那① 2: 磯谷瑠①	S: 市岡俊祐① B: 山口裕次①	3: 田村拓也①
男子ダブルスカル	S: 塚中悠介①	B: 青木大空①	
男子シングルスカル A	岡田翔太③		
男子シングルスカル B	中神瑛太①		
女子ダブルスカル A	S: 鈴木葉奈②	B: 外山日南乃②	
女子ダブルスカル B	S: 孕石琴音①	B: 伊澤唯以愛①	
女子シングルスカル	稲垣仁美③		

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

〈プレミナリー〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学 A	3:28.25
2	名古屋大学	3:32.94
3	名古屋工業大学 B	3:40.71

〈決勝 A 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学 A	3:26.22
2	名古屋大学	3:31.99
3	名古屋工業大学 B	3:47.11



男子舵手付きフォア A のクルーです。

◆男子ダブルスカル◆

〈Time Trial C 組〉

着順	クルー名	1000m
1	南山大学 A	3:39.18
2	名古屋大学	4:03.13
3	名古屋工業大学	4:05.54



男子舵手付きフォア B のレースの様子です。



1 年の中神の蹴り出しです。

〈決勝 C 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学	4:02.57
2	南山大学 B	4:05.93
3	名古屋工業大学	4:06.68



3 年の岡田の蹴り出しです。

◆男子シングルスカル◆

〈Time Trial D 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学 A(岡田)	3:41.53
2	南山大学 A(鍵山)	4:48.33
3	旭丘高校 C(森山)	3:58.86
4	旭丘高校 F(吉田)	4:19.14

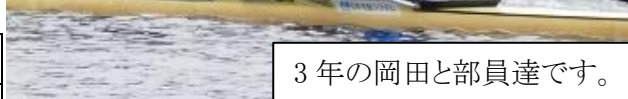


〈Time Trial E 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学 B(中舘)	3:59.88
2	旭丘高校 D(石井)	4:17.61
3	名古屋工業大学 B(中神)	7:26.87

〈決勝 A 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学 A(恩田)	3:44.12
2	名古屋工業大学 A(岡田)	3:45.22
3	中央大学杉並高校 A(久保田)	3:46.43
4	南山大学艇友会(川田)	3:51.31



3 年の岡田と部員達です。

〈決勝 E 組〉

着順	クルー名	1000m
1	南山大学 B(小林)	4:30.31
2	旭丘高校 E(山本)	4:31.74
3	名古屋工業大学 B(中神)	5:18.85



女子ダブルスカル A のレースです。

◆女子ダブルスカル◆

〈Time Trial B 組〉

着順	クルー名	1000m
1	中央大学杉並高校 A	4:02.10
2	旭丘高校 A	4:08.81
3	名古屋工業大学 B	4:17.59
4	南山大学 A	4:18.53



女子ダブルスカル B の蹴り出しです。

〈Time Trial C 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学 A	4:06.52
2	南山大学 B	4:27.07
3	名古屋大学 A	5:07.68



3 年の稲垣のレースの様子です。

〈決勝 A 組〉

着順	クルー名	1000m
1	中央大学杉並高校 A	4:07.72
2	名古屋工業大学 A	4:11.79
3	旭丘高校 A	4:12.72
4	旭丘高校 B	4:21.87



男子舵手付きフォア B のクルーです。

〈決勝 B 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋大学 B	4:16.57
2	南山大学 A	4:18.57
3	名古屋工業大学 B	4:25.85
4	南山大学 B	4:29.58



男子舵手付きフォア A、B の両クルーです。

◆女子シングルスカル◆

〈Time Trial B 組〉

着順	クルー名	1000m
1	名古屋工業大学(稲垣)	4:18.32
2	旭丘高校 B(村田)	4:41.41
3	中央大学杉並高校 B(伊能)	4:48.27

〈決勝 A 組〉

着順	クルー名	1000m
1	中部電力(野瀬)	4:05.35
2	名古屋工業大学(稲垣)	4:25.45
3	旭丘高校 A(塚田)	4:38.21
4	中央大学杉並高校 A(菅沼)	4:45.95



集合写真です。



男子舵手付きフォア A のレースの様子です。

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア A S:宮倉悠吾(2年)

今回のレースは、新生 IXIA として臨む初めてのレースとなりました。本クルーは、全日本新人選手権に向けて編成されたクルーです。GLANZ にはもちろん、同じく全日本新人選手権に出場する名古屋大学にも絶対に負けられないという強い気持ちで臨みました。結果として、見事 1 位を獲得できました。この勝利は、全日本新人選手権に向けて大きな自信につながるものになったと感じています。一方で、スタートがうまく決まらないなど、いくつかの課題も見つかりました。今後はその点をしっかりと改善し、より完成度の高いクルーを目指していきたいと考えています。

男子舵手付きフォア A 2:太田泰睦(2年)

今大会は、全日本新人に向けたクルーでの初めてのレースとなりました。特に前半からのコンスタントをラストまで落とさずに漕ぎ切ることを目標に掲げて臨みました。スタート直後から 300m 付近までのハイレートでは少々乱れが生じてしまいましたが、全体的にまとまった漕ぎができ、タイムも大きく落とすことなく推移したため、手応えを感じています。ここから戸田でのレースに向けて、一本一本の精度をさらに高め、2000m での安定したレース展開ができるよう仕上げていきたいと考えています。

男子舵手付きフォア B C:岡本友那(1年)

1 本目のレースは、タイムが落ちることもなく、クルー全員でしっかりと合わせて漕ぐことができたと思います。想定よりも他艇との差もつかず、非常に良い内容のレースでした。一方、2 本目のレースでは、バランスを大きく崩してしまい、思うような漕ぎができませんでした。途中での立て直しも図れず、ラストスパートでも揃わないままフィニッシュを迎えてしまい、力を出し切れませんでした。レース中に大きく崩れた際、焦って指示が出せなくなってしまったことに悔いが残ります。今後は、どのような状況でも落ち着いて、冷静に声をかけられるよう成長していきたいです。

男子舵手付きフォア B 3:田村拓也(1年)

今回の名古屋レガッタは、大学からボートを始めた自身にとって 2 回目の大会となりました。大会を終えて、技術も体力もまだまだ不足していると痛感しました。特に、レース終盤になると整調に合わせる事ができず、クルーの足を引っ張ってしまったと感じています。今後は、タイミングをより意識して練習に取り組み、名大新人に向けて練習に励んでいきます。



男子ダブルスカルのリースの様子です。

男子ダブルスカル S:塚中悠介(1 年)

中部新人から 2 週間を経て臨んだレースでした。前回の大会では維持できなかったハイレートを、今大会では最後まで漕ぎ切れました。しかし、まだキャッチが遅いという課題があるため、これを改善できるよう練習に励んでいきます。

男子シングルスカル A 岡田翔太(3 年)

今回のレースは、1 年次に出場した庄内川レガッタ以来のシングルスカルでのレースとなりました。自身、あまりシングルは得意ではありませんでしたが、予選は上手く噛み合い、全体のタイム順位 1 位で通過できました。決勝は大学生 3 人と高校生 1 人の 4 人でのレースとなりました。特に意識していたのは名古屋大学の恩田選手で、同じ 3 年生として、絶対に負けられないという強い気持ちで臨みました。序盤は半艇身ほどリードしていましたが、ラストスパートで追いつかれ、惜しくも敗れました。今回のレースで、やはりシングルの練習は不可欠だと痛感しました。そのため、これからの冬場はシングルにしっかりと乗り込み、次のインカレに繋がられるよう練習に励んでいきます。

男子シングルスカル B 中神瑛太(1 年)

今回の大会は、緊張のためか腕に力が入りすぎてしまいました。また、視野が狭くなっており、岸に近づいていることに気づけませんでした。次回は足で漕ぐことをより意識し、漕ぎの技術を高めるため、練習時から課題を強く意識して修正に取り組み、良いタイムを出したいと考えています。

女子ダブルスカル A S:外山日南乃(2 年)

中部新人まではバウでしたが、今大会から整調に変更したため、これまで 2 人で作り上げてきた漕ぎができるかが最大の不安要素でした。しかし、レース内容は非常に納得のいくものであり、シート順を変更してから短い期間でしたが、よく合わせる事ができたと感じています。これからは全日本新人に向けてさらに努力いたしますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。

女子ダブルスカル B B:伊澤唯以愛(1 年)

今回は女子ダブルとしての 2 回目の大会でした。前回の中部新人からは、ハイレートでの漕ぎの安定を目指して練習に取り組んできました。大会ではオールが乱れる場面もありましたが、1、2 レース共にこれまでのように大きく減速することなく漕ぎ切ることができ、練習の成果を実感しました。また、自身の中でのペース配分など、課題も多く見つかったため、今後の練習で改善できるよう励んでいきます。

女子シングルスカル 稲垣仁美(3 年)

今回はインカレ明けの短い期間での準備だったため、意識するポイントを絞り、集中して練習に取り組みました。自分では上手くいっていると感じていましたが、優勝した中部電力の選手を見るとキャッチの鋭さが格段に違い、まだまだ技術的にも体力的にも未熟であると痛感しました。しかし、これまであまり感じられなかった艇を進める感覚を今回の練習で掴めたことは、大きな成長でした。2 年半、辛いことも多々ありましたが、必死に艇に向き合い続けてきた成果を発揮できたと感じています。ご声援ありがとうございました。

全日本新人ローイング選手権大会

少し肌寒い中、全日本新人ローイング選手権大会が開催されました。全国のレベルの高い学生と艇を並べ、自分の立ち位置を知れた貴重な経験を、次のインカレでの飛躍につなげます。

日時 : 2025 年 10 月 31 日(金)～11 月 2 日(日)

場所 : 埼玉県戸田市 戸田ボートコース 2000m

出漕クルー : 男子舵手付きフォア
 C:亀島快斗②
 2:太田泰睦②
 S:外山日南乃②

 S:宮倉悠吾②
 B:荒井史豊②
 B:鈴木葉奈②

 3:赤松大輔②

○内の数字は学年を示します。

◆男子舵手付きフォア◆

〈予選1組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	立教大学	1:43.14	3:28.66	5:18.76	7:06.14
2	新潟大学	1:48.83	3:38.87	5:32.72	7:21.91
3	名古屋工業大学	1:51.04	3:45.00	5:41.38	7:31.57
4	神戸大学	1:53.69	3:49.99	5:46.90	7:41.57

〈敗復1組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	大阪大学 A	1:43.59	3:32.84	5:25.66	7:16.64
2	名古屋工業大学	1:46.71	3:39.81	5:36.80	7:30.34
3	山口大学	1:51.52	3:45.13	5:41.95	7:32.66



女子ダブルスカルの蹴り出しです。



男子舵手付きフォアの円陣です。



男子舵手付きフォアのレースの様子です。

◆女子ダブルスカル◆

〈予選2組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	東北大学 A	1:58.30	4:03.73	6:09.54	8:10.91
2	東京外国語大学	1:59.97	4:03.35	6:12.73	8:23.97
3	桜宮高校混成	2:03.33	4:12.52	6:24.50	8:32.85
4	名古屋工業大学	2:05.68	4:22.21	6:39.61	8:51.62

〈敗復4組〉1杯上がり

着順	クルー名	500m	1000m	1500m	2000m
1	日本体育大学 B	1:56.34	3:56.67	6:00.35	8:03.83
2	北海道大学	2:05.98	4:13.29	6:21.92	8:28.88
3	名古屋工業大学	2:03.17	4:14.86	6:28.54	8:37.44

●クルーの言葉●

男子舵手付きフォア C:亀島快斗(2年)

初めに、艇を貸していただいた東海大学の皆様、本当にありがとうございました。今大会は、最終日への進出を絶対的な目標として掲げていました。予選では、焦りから抜け出すことができず、不完全燃焼に終わってしまいました。敗者復活戦は1着のみが勝ち上がれる厳しい条件だったため、第1クォーターから攻めのレースを展開しようと覚悟を決めました。スタートではなんとか大阪大学に食らいつくことができましたが、その後は地力の差で離されてしまい、敗退しました。悔しい結果とはなりましたが、タイムとしては例年のインカレクルーより速いものが出ていたと感じています。部全体のレベルが向上していることを実感し、嬉しく思います。まだシーズンは終わっていませんので、この悔しさを全て名大新人にぶつけたいと思います。全日本新人は非常に良い刺激になりました。名大新人直前という時期ではありますが、来年も再来年もぜひ出場してほしいと願っています。今回出場できたのは、多くの方々のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。未来の後輩たちのためにも、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

男子舵手付きフォア 3:赤松大輔(2年)

インカレ後にクルーを結成したため、大会までの練習期間はわずか1ヶ月半ほどでした。活動開始当初の2週間はクルーとしての成長が実感できず、残された乗艇回数を数えては焦りを感じていました。しかし、10月中旬の名古屋レガッタでは、漕ぎのイメージを全員で共有することができ、自信に繋がりました。その後の全日本新人までの2週間は成長が停滞しているように感じられ、理想にはあと数歩届かぬままレース本番を迎えました。実際、強豪と呼ばれる大学には全く歯が立たず、悔しい敗退となりました。限られた時間の中でも、成すべきことはまだあったのではないかと後悔も残りますが、クルーボートの難しさと楽しさを肌で感じることでできた大会でした。最後になりますが、私たちの挑戦に対して、常日頃より格別のご理解とご尽力を賜りましたOB・OGの皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも皆様の温かいご声援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

女子ダブルスカル B:鈴木葉奈(2年)

今大会は自身にとって初めての全国規模の大会であり、現在の立ち位置を知ることができ、非常に貴重な経験となりました。予選・敗復ともに大きなミスはなく、特に敗復では自分たちの力を最大限発揮してレースを展開することができました。今大会を通して、自分たちの強みや課題を再確認し、多くの刺激を受けました。この経験を糧に、今後の大会に向けて、悔いの残らぬよう練習に励んでいきます。また、全日本新人出場にあたり多大なるご支援をいただいた OB・OG の皆様、諸先輩方、そして学業でお忙しい中、会場まで駆けつけてくださった先輩方、マネージャーの皆さんに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。結果を残すことができず、ご期待に沿えず申し訳ありません。この悔しさを必ず次につなげていきたいと思います。



女子ダブルスカルのレースの様子です。



左から2年の宮倉と亀島です。



左から3年の岡田、2年外山と行武です。



2年の鈴木です。



2年の荒井です。



お疲れ様！

名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会

冷気が一段と深まり冬の訪れを感じる中、名古屋大学・名古屋工業大学新人対校競漕大会が行われました。女子ダブルスカルは優勝という結果になりました。今シーズンでの反省点を踏まえて、次の名大戦では全クルーがいい結果を報告できるよう努力してまいります。

日程：2025年11月23日

場所：愛知県名古屋市市中川区 庄内川 明德橋～大当郎橋 1900m

出艇クルー：男子エイト

C:亀島快斗② S:市岡俊祐① 7:赤松大輔②
6:宮倉悠吾② 5:太田泰睦② 4:磯谷瑠①
3:田村拓也① 2:荒井史豊② B:山口裕次①

女子ダブルスカル

S:外山日南乃② B:鈴木葉奈②

○内の数字は学年を示しています。

◆男子エイト◆

着順	クルー名	1900m
1	名古屋大学	7:45.76
2	名古屋工業大学	7:51.01



◆女子ダブルスカル◆

着順	クルー名	1900m
1	名古屋工業大学	10:35.62
2	名古屋大学	10:45.36



●クルーの言葉●

男子エイト S:市岡俊祐(1年)

練習での感覚も悪くはなく、素のパワーでも名大エイトに引けを取らないと考えていたため、今回の結果は非常に悔しいものとなりました。来年に備え、冬のトレーニングで漕手として大きく成長することを目標に、今後も練習に励んでいきます。



男子エイト 5:太田泰睦(2年)

初めに、今シーズンの応援、サポートをいただきありがとうございました。今回の名大新人は少ない練習時間ではありましたが、完成度への自信はありました。しかし、結果は約1艇身差での敗戦となりました。昨年から成長は感じたものの、まだまだ力の差を見せつけられるものでした。序盤のスタートから大きく離されることはありませんでしたが、コンスタントで徐々に離され、アタックやミドルスパートなどで艇速を上げて相手を差したい場面で差し切れず、リードを保たれたままゴールしました。それまでの準備が上手くいった分、リードを許す中で全員に焦りが生じてしまったことが、大きな敗因だったと考えています。また、5番として漕ぎで支えきれなかったことも反省です。フィジカル面でもメンタル面でも成長できる冬を過ごし、3月の名大戦での連勝を目指します。ありがとうございました。

男子エイト 2:荒井史豊(2年)

今回の大会は、昨年の新人戦の雪辱を果たす意味でも、自身にとって非常に重要な試合でした。力強いクルーが多くいる中で挑みましたが、結果としては敗れてしまいました。この悔しさを糧に冬季トレーニングに励み、次の名大戦では必ず勝利したいと思います。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。



左から2年の太田と荒井です。



左から2年の中山と出原です。



左から3年の岡田と鷺尾と加藤です。



2年の赤松です。



女子ダブルスカルのスクリュー出しです。

男子エイト B:山口裕次(1年)

初めて先輩方と共に練習を重ね、大会に臨みました。その中で、体力面や技術面だけでなく、精神面においても自身の実力不足を痛感しました。これから始まる冬季トレーニングでは、2000mのレースでどのような状況になっても全力で漕ぎ切れるよう成長し、次の名大戦で勝利に貢献できる選手になりたいと考えています。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。

女子ダブルスカル S:外山日南乃(2年)

初めての名古屋大学さんとの対校戦で勝利することができ、大変嬉しく思っております。今シーズンは、昨シーズンでは経験できなかった2000mの大会にも多く出場させていただきました。その中で、私たちはコンスタントが弱く、体力面の課題を痛感しました。春夏の大会に向け、冬のトレーニングでは体力向上にしっかり取り組んでまいります。最後になりましたが、今年も温かいご支援と応援をいただき、誠にありがとうございました。来シーズンもどうぞよろしくお願いいたします。



●●応援にお越しくださった方々(敬称略)●●

卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前	卒業年	学科	御名前
		白艇会会長 佐野武雄			部長 犬塚信博	R5	EM	高木勝義
R7	AC	垣内春乃	R7	AC	荒川耀太	R7	LC	古瀬幸太郎
R7	AC	柘植小夏	R7	LC	竹中翼			

今後の予定

今後の予定をお知らせいたします。

●●忘年会●●

日程：2025年12月29日(月) 18時00分～

場所：愛知県名古屋市昭和区 萩乃茶屋

今年を振り返り、OB・OGの皆様と今年の成果や反省、来年の抱負について語り合いたいと思います。ご多忙とは存じますが、ぜひお越しください。

●●初漕ぎ会●●

日程：2026年1月5日(月)

場所：愛知県名古屋市中川区 庄内川

1年の始まりを漕ぎ出します。

OB・OGの皆様にお会いできることを楽しみにしております。

●●インドアローイング大会●●

日程：2026年1月予定

場所：株式会社デンソー先端技術研究所

冬のトレーニングの成果をお見せします。全員が記録更新を達成できるように、全力を尽くします。応援のほどよろしくお願いいたします。

●●送別会●●

日程：2026年3月上旬予定

場所：未定

OB・OGの皆様と卒業生の門出を盛大に祝いたいと考えております。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。